

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 7 日現在

機関番号：36301

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2013～2015

課題番号：25770128

研究課題名(和文) 第二次大戦下のパリ・シュルレアリスム：「ペンを持つ手」グループがひらく新たな展望

研究課題名(英文) Surrealism under German-occupied France: "Main a plume" and its impact

## 研究代表者

進藤 久乃 (SHINDO, Hisano)

松山大学・経営学部・准教授

研究者番号：40613922

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,000,000円

研究成果の概要(和文)：本課題では、これまでほとんど注目されることのなかった第二次大戦下フランスのシュルレアリスムグループ、「ペンを持つ手」の活動について研究を行った。ペンを持つ手の機関誌やグループに関わった若い詩人らの回想録などの収集・分析を通じ、その活動の詳しい様子を明らかにした上で、このグループをシュルレアリスム史及び第二次大戦後前衛再編の流れの中に位置つけた。ペンを持つ手グループが、戦時下において、ブルトンを中心とするシュルレアリスムとは異なる問題意識を持たざるを得ず、そのために、コブラ、シチュアショニスムなどの大戦後前衛運動とシュルレアリスムをつなぐ重要な契機となることを示した。

研究成果の概要(英文)：The object of this study consists in questioning the activity of "Main a plume", surrealist group under German occupied France, which we had not researched enough. Through the analysis of the collective publications of the group and memoirs of several poets who participated to the group, I clarified their activity, and put it in the context of the history of surrealism and that of the avant-garde movements after the World War II. I showed that under the war this group had to ask another type of question than that of the surrealism of Andre Breton, and that's why this group establishes an important opportunity to diversify Surrealism, putting contacts the Surrealism and some avant-garde movements as Cobra or Situationist International.

研究分野：20世紀フランス文学

キーワード：ペンを持つ手 第二次世界大戦とフランス文学 シュルレアリスム アヴァンギャルド

### 1. 研究開始当初の背景

第二次世界大戦下のフランスでは、ファシズムの台頭により、多くの作家や知識人が国外への亡命を余儀なくされた。1920年代から影響力を拡大し、大規模な芸術運動に成長したシュルレアリスムのメンバーたちも例外ではない。グループの中心人物であるアンドレ・ブルトンがニューヨークへ亡命し、マックス・エルンスト、マルセル・デュシャンなどと行動を共にした。ブルトン研究の多さに比例し、大戦下ニューヨークにおけるシュルレアリスムの研究は、比較的充実しているといえる。

しかしその一方で、ジャン＝フランソワ・シャブランとノエル・アルノーという二人の若い詩人が中心となって結成し、ナチス占領下のパリに残って活動したシュルレアリスムグループ、「ペンを持つ手」(La main à plume)についてはほとんど研究が進められてこなかった。グループの結成から解散に至るまでの歴史を詳細に記述したミシェル・フォーレの『ナチスドイツ占領下におけるシュルレアリスムの歴史』(1982, 再版 2003) (Michel Fauré, *Histoire du surréalisme sous l'Occupation*)、及び、アンヌ・ヴェルネとリシャール・ヴァルターが編纂した『ペンを持つ手：ドイツ占領下におけるシュルレアリスム選集』(2008) (*La Main à plume, Anthologie du surréalisme sous l'Occupation*)が基本文献として出版されているが、グループの活動を、シュルレアリスム史、フランス文学史的に位置づける試みはまだなされていない。

### 2. 研究の目的

本研究は、第二次世界大戦下シュルレアリスム、「ペンを持つ手」の活動の全貌を集団的出版物などの分析を通じて明らかにし、文学・芸術史的な位置づけを行うことを目的とする。

### 3. 研究の方法

本研究では、「ペンを持つ手」グループの機関誌を中心とした出版物の収集・読解を通じてグループの理論的考察や集団的遊戯などの実践についてまとめ、ブルトンらのシュルレアリスムとの違いを明らかにしようとした(1)。その上で、前後の文学運動体との関わりについて整理し、文学史的に位置づけようとした(2)。

#### (1) ペンを持つ手グループの活動に関する考察

フランス国立図書館の文献複写サービスを通じて、ペンを持つ手グループの出版物、とりわけ、検閲を逃れる為に毎号ごとにタイトルを変更して出版された機関誌『言葉の輸血』(1941)、『イメージによる世界の征服』(1942)、『シュルレアリスムの地方分権化』(1943)などを収集した。それらの読解・

分析を通じ、そこで詩や芸術についての理論的考察がどのように発展させられたのか、詩的实践がどのように行われたのかという点について、ブルトンらのシュルレアリスムのケースと比較しながら明らかにした。

#### (2) ペンを持つ手グループの文学史的な位置づけに関する考察

ペンを持つ手グループの活動に関する上記の研究を踏まえ、当該グループを文学史的にどのように位置づけるかという問題を考察した。まず、グループの前身となった「街灯」グループの機関誌『街灯』の収集・分析を通じ、ブルトンらに批判的であったはずの若い詩人たちがなぜシュルレアリスムを標榜したのかという点を考察した。

また、ペンを持つ手グループ解散後、「革命的シュルレアリスム」や「コブラ」の機関誌上でノエル・アルノーやクリスチャン・ドートルモンなどの主要メンバーが展開した主張を整理することで、ペンを持つ手の活動が、どのようにしてブルトンらのシュルレアリスムから分岐したのかという問いを考察した。

### 4. 研究成果

#### (1) ペンを持つ手グループの活動に関する考察

ペンを持つ手グループ機関誌の読解・分析を進める中で、彼らが詩を現実に働きかける「行為」にしようとする際、一貫して集合性に依拠していることに着目するようになった。そこで、グループの集団的遊戯(集団的詩作、デッサン伝達の遊戯など)が、アンドレ・ブルトンを中心とするグループの集団的遊戯とどのように異なるのかを考察し、両グループの違いを明らかにしようとした。この分析の結果は、論文「第二次世界大戦下のシュルレアリスム「ペンを持つ手」その集団的遊戯を中心に」にまとめた。ブルトンらのシュルレアリスムが、メンバーそれぞれの個人的な関心事をつきあわせて集団内で変形させることを重視するのに対し、ペンを持つ手のケースでは、集団内で言葉が個人的な関心事を離れ匿名的なものになることに重点が置かれていることを示した。

なお、1930年代後半のシュルレアリスムの主要テーマのひとつである、絵画における時間性(「四次元」)の問題が、オスカー・ドミンゲスによって、ペンを持つ手グループの機関誌上で発展させられていることについて、アイヒシュテット＝インゴルシュタットカトリック大学におけるワークショップで発表し(発表)、論文《The Temporal Dimension in Surrealist Paintings of the Late 1930s》にまとめた。ただしこのテーマは、その後、ペンを持つ手グループよりも、むしろブルトンらのシュルレアリスムにおいてさらなる発展を見られる。

(2) ペンを持つ手グループの文学史的立場に関する考察

上記の分析を踏まえ、ペンを持つ手グループを文学史的に位置づけるため、前後の文学運動体との関わりを考察した。本研究を計画した当初、街灯グループがペンを持つ手グループへと至った文学的・思想的経緯については早い段階で考察する予定であった。しかしこの問題は、グループの解散後までを含めた包括的な研究を通じて初めて明らかになるものと考え、研究の最終段階まで持ち越すこととなった。

ペンを持つ手グループが解散した後、数人のメンバーが結成した「革命的シュルレアリスム」やコブラといった前衛グループの機関誌の他、ノエル・アルノー、ジャン＝フランソワ・シャブラン、クリスチャン・ドートルモンの回想録の分析を通じて、なぜ彼らがブルトンらのシュルレアリスムへと合流しなかったのか、どのようにペンを持つ手の活動を総括し、戦後どのような活動を目指したのかを考察した。

この点については、フランス語フランス文学会 2016 年春季大会ワークショップにて発表した(「20 世紀フランス文学をめぐるアヴァンギャルド的思考」内の発表「シュルレアリスムから第二次大戦後前衛へ 「ペンを持つ手」を中心に」)。そのアウトラインは以下のようなものである。第二次大戦前はシュルレアリスムとの差異を主張し、自らを新しいものとして位置づけていた街灯グループは、ナチス占領下、そのような前衛的態度を維持することができずにシュルレアリスムへと接近した。彼らは戦時中、シュルレアリスム活動とファシズムとの戦いをどのように両立させるかを自問し続ける。「詩はどのようにして、その独立性を失うことなしに、現在へと働きかけることができるのか」、「非理性を探求するシュルレアリスム活動は、どのようにして意図的な社会的反抗と両立するのか」という彼らの問いは、亡命先から帰国したブルトンらの活動に答えを見いだすことができず、第二次大戦後の諸運動 ウリボ、コブラ、シチュアシオニストへと至ることになる。

このように、本研究は、ペンを持つ手グループの活動を明らかにするのみならず、このグループが、戦時下における活動を通じて、シュルレアリスムと第二次大戦後の前衛をつなぐ重要な転換点となったことを明らかにした。

ペンを持つ手が残した問いに対し、ウリボ、コブラ、シチュアシオニストがどのような答えを出しているのかを精査するためには、これらの運動体の理論的考察や作品の分析を進めなければならないだろう。ブルトンを中心とする戦後のシュルレアリスムの考察も合わせ、1950 年代～1970 年代の新たな見取り図を描くことが今後の課題となる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 2 件)

SHINDÔ Hisano, 《The Temporal Dimension in Surrealist Paintings of the Late 1930s》, in Michael F. Zimmermann (ed.), *Vision in motion: Streams of Sensation and Configurations of Time*, 査読あり、Diaphanes, 2016, pp. 519-533.

進藤久乃、「第二次大戦下のシュルレアリスム「ペンを持つ手」 その集团的遊戯を中心に」、『Caricaturana 2015』、査読なし、学習院大学人文科学研究所、2016 年 3 月、pp. 59-67.

〔学会発表〕(計 4 件)

塚原史、進藤久乃、前山悠、門間広明、熊木淳、「20 世紀フランス文学をめぐるアヴァンギャルド的思考」、日本フランス語フランス文学会 2016 年春季大会ワークショップ、2016 年 5 月 29 日、於 学習院大学(東京都)。(パネリストとして、「シュルレアリスムから第二次大戦後前衛へ 「ペンを持つ手」を中心に」と題する発表を行った。)

小林康夫、松浦寿夫、桑田光平、進藤久乃、「ジャコメッティとパリ」、東京大学大学院総合文化研究科教養学部附属共生のための国際哲学研究センター(UTCP)主催シンポジウム、2014 年 5 月 13 日、於 東京大学駒場キャンパス(東京都)。(パネリストとして、「ジャコメッティとシュルレアリスムのオブジェ」と題する発表を行った。)

SHINDÔ Hisano, 《La dimension temporelle dans la peinture surréaliste de la fin des années 1930》, 「運動の視覚・時間の形象」ワークショップ、2013 年 10 月 3 日、於 アイヒシュテット＝インゴルシュタットカトリック大学、アイヒシュテット(ドイツ)。

進藤久乃、「シュルレアリスム絵画における「四次元」: アンドレ・ブルトンと画家たちの対話をめぐって」、日本フランス語フランス文学会 2013 年春季大会、2013 年 6 月 1 日、於 国際基督教大学(東京都)。

〔図書〕(計 件)

〔産業財産権〕  
出願状況(計 件)

名称:  
発明者:

権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

進藤 久乃 (SHINDÔ, Hisano)  
松山大学 経営学部 准教授  
研究者番号：40613922

### (2) 研究分担者

( )

研究者番号：

### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：